クリニカルパスウェイ

大腸切除術(2日前入院)を受ける患者さんへ

平成29年4月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　患者氏名　@PATIENTNAME

	外来	入院日	手術前日	手術当日		手術翌日	手術後2日目	手術後3～6日	手術後7日目	手術後8日目～退院
日時	月　日	月　日	月　日	月　日　手術前	月　日　手術後	月　日	月　日	月　日～　月　日	月　日	月　日～
目標	手術について理解し、手術に向けての準備ができる。	手術についての理解ができ、不安が最小限となる。	手術についての理解ができ、不安が最小限となる。安全に手術前の準備ができる。	不安を最小限に手術を安全に受けることができる。	傷の痛みや苦痛が和らぎ休息を図れる。 出血や感染が予防できる。	痛みのコントロール、早期離床ができ安楽に過ごせる。 出血や感染が予防できる。 ★ 離床…ベッドに横になっている状況から起き上がりベッドを離れ歩行することです。	痛みを我慢せずコントロールができ、離床ができる。 出血や感染が予防できる。	痛みを我慢せずコントロールができ離床ができ、腸閉塞を起こさない。 創部の感染を起こさない。 熱がでない(縫合不全を起こさない)	疼痛コントロールが図れ、離床ができ、腸閉塞を予防できる。退院後の生活にむけてのイメージができる。	退院後の生活がイメージできる。
食事	制限はありません。	食事は医師の指示にて、手術にむけて専用のお食事を提供させていただきます。看護師より説明します。	朝より食事はできません。下剤を内服します。 20時より経口補水液(または水)を飲みます。その他の水分は飲まないでください。	食事はできません。朝6時まで経口補水(または水)を飲みます。飲んだ量を看護師が確認します。	絶飲食です。	回診時にお腹の動きを診察し、医師の指示によっては水分が取れるようになります。	お腹の動きを含めた全身の状態を診察し、問題がなければ食事を検討していきます。	お腹の症状をみながら食事を流動食から開始します。食事の形態をお腹の症状をみながら常食へむけて食事を検討していきます。		
活動	制限はありません。	制限はありません。	制限はありません。		ベッド上安静です。 寝返りは可能です、看護師がお手伝いします。 他に医師からの指示がある場合はお伝えします。	全身の状態をみながら、看護師と一緒に離床していきます。 状態により変わりますので、説明します。	ドレーンや点滴に注意して、積極的に離床をしていきましょう。 離床前には安全に離床できるよう整えますので、看護師に教えてください。	特に制限はありません。	→	→
検査処置	手術に必要な検査を行います。(採血・心電図・尿検査・レントゲン・呼吸機能など) 	採血があります。 担当看護師より説明します。		手術前までに手術着に着替えてください。 下肢の血流を促すためのストッキングを履きます。	尿を出す管が入っています。 医師の指示により酸素投与をします。 背中に痛みどめのチューブと、身体の中から出てきた血液・体液を出すために手術部位にチューブが入っています。	採血・レントゲンなどの検査を行います。		管から出る血液や体液が減ってきたら、管を抜きます。　尿の管も抜いていきます。 また、疼痛の状況によって背中の痛み止めのチューブを抜きます。	傷の状況に応じて全て、もしくは一部を抜鉤します。	
薬	常用薬を確認しますのでお薬手帳を看護師にお見せください。 治療のために休薬が必要な薬剤は医師より説明があります。 薬剤: 日時:　月　日より休薬	常用薬を1週間分とお薬手帳をお持ちください。 内容の確認をしますので薬剤師が伺います。 夕食後と寝る前に下剤を内服します。	点滴は基本的には実施しません。	薬は指示があるまで飲みません。(指示がある内服薬のみ飲みます。)	継続して点滴をしています。 痛みがある時や眠れない時は痛みどめを使います。	点滴を継続して行います。 医師の指示により内服薬を開始します。	医師の指示により少しずつ点滴の量が変わります。	術後3日目・5日目には採血・レントゲンを実施します。 採血の結果により抗生剤は中止、あるいは点滴から内服薬に変わります。		
清潔	制限はありません。 髭剃りができる用意をお持ちください。手と足の爪は切ってください。マニキュアやネイルは必ず落	入浴してください。	入浴してください。 担当看護師が臍処置をします。 爪切りをしてください。	入浴はできません。	入浴はできません。	身体を拭いたり、感染予防のために部分洗浄をします。		シャワー浴に関しては、担当看護師に確認してください。		
指導説明	医師・看護師より手術についての説明があります。 ＊その時に手術承諾書、輸血同意書をお渡します。 外来または、グリーンカウンターで入院のオリエンテーションがあります。 手術の際に貴金属は全て外します。指輪など外れるか　ご確認ください。	病棟内の案内や入院生活・手術の流れなどについて説明があります。 手術の同意書を持参してください。 麻酔科医師が診察し、全身麻酔についての説明があります。		手術後は医師から説明があります。 ※手術中はご家族の方は病棟のロビーまたは病室でお待ちください。離れる際は必ず看護師にお声をおかけください。 ・手術後はベッドで部屋に戻ります。	痛みや嘔気など苦痛がある場合は、早めに看護師にお知らせください。	痛みや嘔気など苦痛がある場合は、早めに看護師にお知らせください。	痛みや嘔気など苦痛がある場合は、早めに看護師にお知らせください。 排ガスがあった場合は看護師に教えてください。	痛みや嘔気など苦痛がある場合は、早めに看護師にお知らせください。 食事開始に伴い、消化管への負担を避けるためにも時間をかけ食事摂取しましょう。	退院後の生活・注意点について説明します。 ＜退院後の注意点＞ ・38℃以上の熱が出る ・嘔気・嘔吐がある ・お腹が痛い ・お通じやガスがでない ・傷の強い痛み、腫れ、熱感 ・飲酒は出血しやすくなるため控えましょう。	退院後の注意点でお伝えした症状がある時は日中は外来、夜間・休日は救急室にご相談ください。

《連絡先》
東京慈恵会医科大学西部医療センター　　TEL:03－3480－1151